

放課後等デイサービス事業自己評価表

公表:令和6年3月25日

事業所名 社会福祉法人 筑陽会 ぱっそ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など	
環境体制整備	1	利用者定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	○			年齢や人数、児童の状態に合わせて、部屋を分ける等の対応を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			職員は、基準より多く配置しているが作業療法士と言語聴覚士が1名ずつしかいない為、体調不良等で休む場合の振り替え対応などを検討していく。
	3	事業所等の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			施設内は、バリアフリー化されている。また、各部屋にマークを付ける等して分かりやすくしている。
業務改善	4	業務改善を進める為のPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		毎週、作業療法士・言語聴覚士・保育士・児童指導員によるミーティングを行っている。送迎等の業務の関係上、全員がミーティングに参加出来ない場合もあるので会議録を活用していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート以外にも、保護者の方との面談を取り入れ、ご意向等を確認し、改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所のホームページに等で公開しているか	○			ホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部からの評価を受けることが出来るように、今後、検討を行っていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			虐待防止や身体拘束等や障がい・特性等の研修を実施している。動画視聴などの研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に保護者の方と面談を行い、ニーズの確認や家庭での様子等を確認している。また、必要な事項については個別支援計画に反映させるようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所で作成したアセスメントツールを活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		保育士・児童指導員が活動プログラムを検討し、実施しているがチームとしては不十分な面もあり、会議等で情報の共有を行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			活動の内容がマンネリ化しないよう、検討をしている。また、児童の状態によって臨機応変に変更するようにもしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか		○		平日も休日も同じ営業時間である為、大きく変化をさせてはいない。当日、来所する児童に合わせた内容にはしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別療育や集団療育を実施しており、個別支援計画も作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日、朝礼を実施しており、必要に応じて具体的な児童への対応等についての話を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	支援終了後に、各職員で気付いたことや振り返りを行っている。ミーティングも行っているが不十分な面もある為、精査をして方法を変えていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、記録を作成している。また、記録を読み返す等して、児童への対応の工夫に繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行っている。児童の発達状況に合わせて見直しを行っている。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているのか		○		基本的な活動は行っているが、地域との交流は、実施できていない為、今後、検討していく。
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が担当者会議等に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者の方を通して、学校行事や下校時間等の把握を行っている。また、必要に応じて、学校等へ連絡を行っている。学校の安心メール登録をしていることで対応が出来た。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要な児童の利用がなく、実施していない。利用がある際には、主治医との連絡や助言を頂ける体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			各関係機関と連絡したり、必要に応じては所属機関へ訪問したりして情報の共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			保護者の方のご希望に合わせて、情報提供書を作成したり、訪問し情報提供を行ったりしている。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	発達障がい者支援センターの運営を当法人が受けており、必要に応じて助言を受けたり、保護者同意の下、情報共有を行ったりしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	現在のところ、交流の場の提供が行っていない。近隣の学童保育等と交流が出来るような活動内容の検討を行う。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			広川町障がい者自立支援協議会の子ども支援部会へ参加をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			利用時には、保護者の方へ状況や活動の様子を伝えるようにしている。また、連絡帳やLINE等を活用して情報交換を行っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているのか			○	ペアレント・トレーニングの実施は出来なかったが、親子で参加する行事や学習会などを開催した。今後も、実施していく。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に、説明を行っている、また、保護者の方からのお問い合わせがあった際には、即時、対応している。重要事項説明書を待合室に設置している。しかし、設置についてご存じない方が多い為、案内方法を改善していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者の方から相談のご要望があった際には、早期に時間を取り相談を受けている。また、療育後に保護者の方と振り返りをする時間を設け、支援内容や療育の助言を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			茶話会や学習会などを開催した。開催日などを検討し、より多くの方にご参加して頂けるようにしていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			ご意見を頂いた際には、早急に検討を行い、対応するようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページや地域の情報サイト(まいぶれ八女)を活用して活動の様子等を配信するようにしている。LINEによる連絡体制の強化を行っている。不定期ではあるが、行事や職員研修の情報なども配信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児童とのやり取りについては、写真や絵カード等を準備して、コミュニケーションの工夫を行っている。連絡帳やLINE等でのやり取りも行っている。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	事業所の行事に地域住民の方を招待したことはない。今後、検討を行っていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルの設置場所を分かりやすく工夫し閲覧して頂けるようにする。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出やその他必要な訓練を行っているか	○			年2回、避難訓練等を実施している。LINE等で実施した旨を配信して周知している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員研修を実施している。また、外部の動画配信等の研修も受講している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を行う必要がある場面に遭遇していない。今後、必要な場合は、施設内で十分に検討し、児童や保護者の方へ事前に説明し了解を得たうえで、個別支援計画に記載し、記録する。また、事後検討も行っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師からの指示書までは頂いてはいない。保護者には、食物アレルギー等について必ず確認を行い、配慮徹底している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットがあった際には記載し、情報を共有するようにしている。